日本語添削プログラム
説明事項

【趣旨】

大学院に在籍する留学生が研究上で執筆する日本語の表現性を高めることで，研究活動を活性化することを目的とする。

【日本語添削プログラムの概要】

対象者	添削の対象	添削の上限（年度内）	申込締切
修士課程２年	修士論文	2 回、合計 10 万字	11 月末日　17 時まで ※土曜・日曜に当たる場合は直前の金曜日
博士後期課程３年	博士論文	3 回、合計 30 万字	添削開始日の 10 日前まで

1.　対象者

大学院に在籍する留学生で， 修士課程２年，および，博士後期課程３年在籍者を対象とする。

※　休学者は対象としない。半年間在籍の場合は、在籍期間中は添削の上限内で申請が可能。

◆　添削の対象

修士論文、博士論文の全部，または一部。

2.　添削の上限

回数制限：修士課程２年は２回、博士後期課程３年は３回まで（4 月～翌年 3 月末まで）

文字数制限：修士課程２年はＡ４の標準書式で、文字数ベースで 10 万字まで。

博士後期課程３年はＡ４の標準書式で，文字数ベースで３０万字まで。

※　博士課程３年は、博士論文を提出するまで毎年 30 万字まで添削可能。

3.　受付時期

修士論文については、11 月末日（※土曜・日曜に当たる場合は直前の金曜日）17 時メール必着分まで受け付ける。博士論文については、特に期限を限定せず、随時受け付ける。ただし、原稿提出予定日（添削開始日）の 10 日前までに申込書を提出すること。

原稿提出日について、年度内２回目以降の申請の際は、前回の提出日から６週間以上開けること。

申請から返却までおおよそ２週間を想定（分量による）。返却日については申請時に確認すること。

4.　**指導教員の許諾**

申請には指導教員の許可が必要。申請書に指導教員から署名押印を受けなければならない。

5.　利用のながれ

１．記入済みの「日本語添削プログラム申込書」をメールで提出する。
　※原稿提出予定日の 10 日前まで。

★様式は文学研究院ウェブサイトからダウンロードすること。

２．指導教員の署名・捺印を受けた申込書（紙）を国際交流室窓口に提出する。
　※1.のメール送信後 3 日以内。

３．指定の原稿提出期限までに Word ファイルで国際交流室へ送付する。

ダウンロードは
こちらから↓

6.　注意事項

1. 添削者数に限りがあるため、希望の時期に申請を受付できない場合もある。
2. 添削を行うのは論文の日本語表現の完成度を高めることが目的であり，論文の内容および構成について添削するものではない。申請された論文の学位論文としての評価について、添削内容および添削者には一切責任はなく、申請者自身が責任を持つこととする。
3. 添削者は国際交流室が決定する。
4. 添削終了後、指導と説明のための面談（1 時間）を行う。ただし、添削者の都合により面談を実施できない場合もある。
5. 面談終了後、添削後原稿および添削者からのコメントを国際交流室から指導教員に報告する。
6. 添削指導の結果を利用者がどう活用するかに制限はない。
7. 添削担当者は，預かった論文（の一部）を添削指導以外に使用することはない。結果の報告も，国際交流室と指導教員にのみ行い、論文内容および添削内容を口外することはない。
8. 国際交流室からのメールに返信が無い場合や、電話に応じない場合には、添削を引き受けられない場合がある。

文学院・文学部 国際交流室
TEL：011-706-4807
Email: iau@let.hokudai.ac.jp